

令和 4 年度
道路局関係予算決定概要

令和 3 年 1 2 月 2 4 日

国土交通省道路局

1. 決定概要

令和4年度道路関係予算においては、防災・減災、国土強靱化、予防保全による老朽化対策、人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備、道路空間の安全・安心や賑わいの創出、道路システムのDX、グリーン社会の実現に重点的に取り組む。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図るため、令和3年度補正予算と合わせて、重点的かつ集中的に対策を講じる。(別紙1)

<令和4年度道路関係予算総括表>

(国費:億円)

	R4決定額 (A)	前年度 (B)	倍率 (A/B)
直轄事業	15,943	15,932	1.00
改築その他	10,644	10,765	0.99
維持修繕	4,226	4,083	1.03
諸費等	1,073	1,084	0.99
補助事業	5,049	4,554	1.11
高規格道路、IC等アクセス道路その他	2,106	2,152	0.98
道路メンテナンス事業	2,234	2,223	1.01
交通安全対策事業(通学路緊急対策)	500	-	皆増
除雪	119	113	1.05
補助率差額	90	66	1.36
有料道路事業等	117	106	1.11
合計	21,109	20,592	1.03

注1. 道路関係予算合計には、個別補助制度創設に伴う社会資本整備総合交付金からの移行分があり、社会資本整備総合交付金からの移行分を含まない場合は国費20,609億円[対前年度比1.00]である。

注2. 前年度予算額について、デジタル庁一括計上分(国費63億円)を含む道路関係予算合計は、20,655億円である。

注3. 直轄事業には、地方公共団体の直轄事業負担金(2,983億円)を含む。

注4. 四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

※上記の他に、防災・安全交付金(国費8,156億円[対前年度比0.96])、社会資本整備総合交付金(国費5,817億円[対前年度比0.92])があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

※上記の他に、東日本大震災からの復旧・復興対策事業として、令和4年度予算において社会資本整備総合交付金(国費103億円[対前年度比1.34])があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

※上記の他に、行政部費(国費8億円)およびデジタル庁一括計上分(国費61億円)がある。

<参考> 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

道路関係予算は、令和3年度補正予算において国費2,991億円(令和2年度補正予算においては国費3,605億円)が措置されており、この他に防災・安全交付金および社会資本整備総合交付金があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

2. 主な新規制度・拡充

○交通安全対策補助制度（通学路緊急対策）の創設（別紙2）

千葉県八街市における交通事故を受けて実施した通学路合同点検に基づき、ソフト対策の強化とあわせて実施する交通安全対策に対し、計画的かつ集中的に支援する個別補助制度を創設する。

○道路メンテナンス事業補助制度における橋梁の単純撤去支援の拡充（別紙3）

道路の老朽化対策について、地方公共団体における中長期的な維持管理コストの縮減を図り、持続可能な道路管理の実現に向けた取組を促進するため、治水効果の向上を通じて地域の安全・安心の確保を図る場合には、改築等の実施を伴わない橋梁単体での撤去（単純撤去）を認めるよう制度を拡充する。

○無電柱化推進計画事業補助制度に係る国庫債務負担行為の拡充

無電柱化を推進するため、電線共同溝事業（補助）において、民間技術やノウハウ、資金の活用を図るためにPFI手法を活用する場合について、30箇年以内で国庫債務負担行為を設定できるよう制度を拡充する。

3. 高速道路の機能強化の加速（別紙4）

財政融資0.2兆円

11月19日に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保のため、財政投融資を活用して、暫定2車線区間における4車線化による機能強化を行う。

○ 近年の激甚化・頻発化する災害や急速に進む施設の老朽化等に対応するべく、災害に強い国土幹線道路ネットワーク等を構築するため、高規格道路ネットワークの整備や老朽化対策等の抜本的な対策を含めて、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図ります。

災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築

○ 高規格道路のミッシングリングの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進

〈達成目標〉

- ・5か年で高規格道路のミッシングリング約200区間の約3割を改善（全線又は一部供用）
- ・5か年で高規格道路（有料）の4車線化優先整備区間（約880km）の約5割に事業着手

【国土強靱化に資するミッシングリングの解消】



【暫定2車線区間の4車線化】



道路の老朽化対策

○ ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を実現する予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設（橋梁、トンネル、道路附属物、舗装等）の対策を集中的に実施

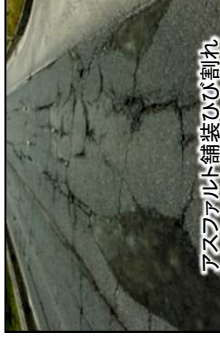
〈達成目標〉

- ・5か年で地方管理の要対策橋梁の約7割の修繕に着手

【橋梁の老朽化事例】



【舗装の老朽化事例】



河川隣接構造物の流失防止対策

○ 通行止めが長期化する渡河部の橋梁流失や河川隣接区間の道路流失等の洗掘・流失対策等を推進

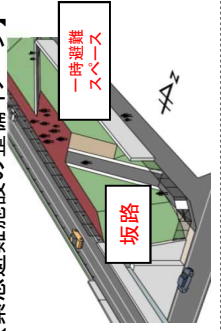
【渡河部の橋梁流失】



高架区間等の緊急避難場所としての活用

○ 津波等からの緊急避難場所を確保するため、直轄国道の高架区間等を活用し避難施設等の整備を実施

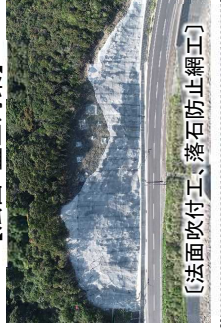
【緊急避難施設の整備イメージ】



道路法面・盛土対策

○ レーザープロファイラ等の高度化された点検手法等により新たに把握された災害リスク箇所に対し、法面・盛土対策を推進

【法面・盛土対策】



無電柱化の推進

○ 電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地等の緊急輸送道路において無電柱化を実施

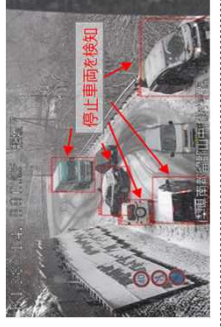
【台風等による電柱倒壊状況】



ITを活用した道路管理体制の強化

○ 遠隔からの道路状況の確認等、道路管理体制の強化や、AI技術等の活用による維持管理の効率化・省力化を推進

【AIによる画像解析技術の活用】



通学路における交通安全対策に係る 個別補助制度(交通安全対策補助制度(通学路緊急対策))の創設

別紙2

○ 千葉県八街市における交通事故を受けて実施した通学路合同点検に基づき、ソフト対策の強化とあわせて実施する交通安全対策について、計画的かつ集中的な支援を可能とする個別補助制度を創設する。(令和4年度予算:500億円)

■ 交通安全対策補助制度(通学路緊急対策)の創設

- 令和3年6月28日、千葉県八街市において、下校中の小学生の列にトラックが衝突し、5名が死傷する痛ましい交通事故が発生。
- この事故を受けて、「通学路等における交通安全の確保及び飲酒運転の根絶に係る緊急対策(令和3年8月4日関係閣僚会議決定)」に基づく通学路合同点検を実施。
- 点検により抽出された対策必要箇所における交通安全対策について、速度規制や通学路の変更などソフト面での対策を組み合わせつつ、可能なものから速やかに実施することとなり、早急に対策を実施できるように地方公共団体に対して計画的かつ集中的な支援が必要。

※ 地方公共団体が実施する交通安全対策については、従前、主に防災・安全交付金により支援

➤ 通学路合同点検に基づき、ソフト対策の強化と合わせて実施する交通安全対策に対し、計画的かつ集中的な支援 [補助期間:5年程度(R4~)]



通学路緊急対策

➤ 通学路合同点検の結果、抽出された対策必要箇所における道路管理者による交通安全対策が対象

歩道・防護柵の整備



物理的デバイス(スムーズ横断歩道※)の設置



※横断歩道部の盛り上げ(ハンブ) →横断箇所の認識向上 →進入速度抑制

右折レーンの整備(渋滞解消→通り抜け車両の抑制)



- 道路の老朽化対策においては、構造物の点検結果や利用状況（交通量や交通利便性への影響等）などを踏まえ、地域の合意が得られたものについては、施設の集約・撤去に取り組んでいるところ
- 中長期的な維持管理コストの縮減を図り、持続可能な道路管理の実現に向けた取組をさらに促進するため、治水効果の向上を通じて地域の安全・安心の確保を図る場合には、改築等の実施を伴わない橋梁単体での撤去（単純撤去）を認めるよう制度を拡充

単純撤去の補助要件： 要件①に該当する橋梁の撤去事業で、要件②を満たす個別施設計画が策定されていること

要件① 治水効果の高い橋梁の撤去

- 橋梁を撤去した場合の治水効果を確認していること



径間長不足、河積阻害による支障事例



桁下高不足による支障事例

要件② 実効性ある個別施設計画

- 橋梁の集約撤去など「コスト縮減に関する具体的な方針」と「短期的な数値目標とそのコスト縮減効果」が記載されていること①、②
- 当該事業が記載されていること③

〇〇市 橋梁長寿命化修繕計画 【個別施設計画】

記載内容

.....

① **集約撤去などコスト縮減に関する具体的な方針**

② **撤去に関する**

「**短期的な数値目標**」と「**そのコスト縮減効果**」

例) R〇年までに〇〇橋の橋梁を撤去し、

将来の維持管理コストを〇〇百万円縮減することを旨とする

③ **当該事業の記載**

例) 〇〇橋、〇年撤去予定

【財政融資資金 計0.5兆円（令和3年度補正：0.3兆円、令和4年度当初：0.2兆円）】

財政投融資を活用して、暫定2車線区間の機能強化による安全性・信頼性の向上を行う。

事業スキーム

超長期（35年）
・ 固定の財政融資
0.5兆円の追加

（財投活用による効果）
機構：0.25兆円程度の
金利負担の軽減

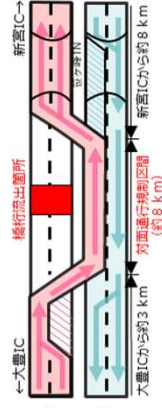
0.25兆円程度の事業を実施
（財投活用による整備予定箇所）
○ 暫定2車線区間における4車線化の実施

事業（例）

【4車線化の効果の例】

平成30年7月豪雨

高知道において、上り線の橋梁が落橋したが、下り線を活用し、被災6日後に暫定2車線で一般車両の交通機能を確認



高知自動車道における下り線を活用した交通機能確保

令和2年7月豪雨

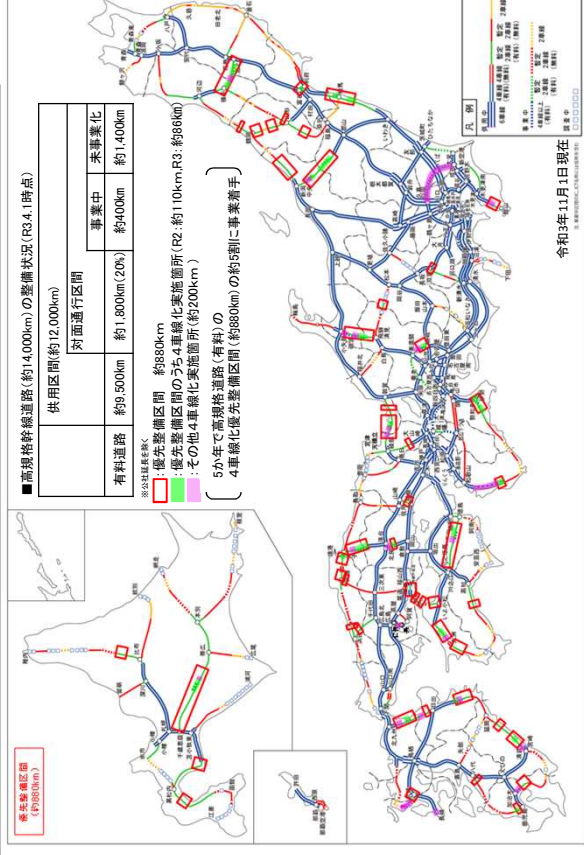
九州道（横川～溝辺鹿兒島空港）において、4車線のうち被害のない2車線を活用し、約8時間で一般車両の下り線の通行を確認。また、約19時間後には一般車両の上下線の交通機能を確認



九州自動車道（横川～溝辺鹿兒島空港）の被害状況

【事業内容】

防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保のため、暫定2車線区間における4車線化による機能強化



令和3年11月1日現在